

令和7年度
みよし市下水道事業経営戦略モニタリング報告書
(令和6年度決算分)

はじめに

みよし市下水道事業経営戦略（以下、経営戦略）は安全で快適な生活に欠かせない下水道事業の経営において、そのサービスが将来にわたって持続的かつ安定的に提供できるように、事業の円滑な運意を維持するための計画です。

本市では、令和6（2024）年度に令和7（2025）年度から令和17（2035）年度までの11年間を計画期間とし、経営戦略を改定しました。改定後は毎年度モニタリングを行うとともに、5年ごとに投資・財政計画（収支計画）における実績を確認し、投資の計画及び状況の検証と将来見通しの再評価を行います。

本報告書は、経営戦略に基づき、毎年度のモニタリング結果を報告するものです。

1. 投資・財政計画（収支計画）についてのモニタリング

(1) 投資・財政計画（収支計画）の決算値と計画値の比較

(単位:円)

区 分		年 度	R6(2024)年度 計画値 A	R6(2024)年度 決算値 B	差額 (B-A)
収 益 的 収 入	1. 営 業 収 益 (A)		801,837,601	797,909,670	△ 3,927,931
		(1) 料 金 収 入	669,061,207	645,229,075	△ 23,832,132
		(2) 雨 水 処 理 負 担 金	132,776,394	152,680,595	19,904,201
		う ち 基 準 内 繰 入 金	132,776,394	152,680,595	19,904,201
		う ち 基 準 外 繰 入 金	0	0	0
	(3) そ の 他	0	0	0	
	2. 営 業 外 収 益		960,413,579	1,009,140,670	48,727,091
		(1) 補 助 金	263,734,613	296,883,000	33,148,387
		他 会 計 補 助 金	261,734,613	294,883,000	33,148,387
		そ の 他 補 助 金	2,000,000	2,000,000	0
		(2) 長 期 前 受 金 戻 入	696,678,966	712,192,331	15,513,365
	(3) そ の 他	0	65,339	65,339	
		収 入 計 (C)	1,762,251,180	1,807,050,340	44,799,160
	収 益 的 支 出	1. 営 業 費 用		1,705,404,693	1,699,737,419
(1) 職 員 給 与 費			53,307,000	57,816,703	4,509,703
基 本 給			27,614,000	29,001,480	1,387,480
退 職 手 当			0	0	0
そ の 他			25,693,000	28,815,223	3,122,223
(2) 経 費		671,095,930	650,541,814	△ 20,554,116	
動 力 費		68,710,000	59,803,442	△ 8,906,558	
修 繕 費		8,100,000	5,057,430	△ 3,042,570	
委 託 費		148,815,000	137,983,544	△ 10,831,456	
流 域 下 水 道 負 担 金		268,934,330	265,375,926	△ 3,558,404	
そ の 他		176,536,600	182,321,472	5,784,872	
(3) 減 価 償 却 費		945,381,763	969,778,151	24,396,388	
(4) 資 産 減 耗 費		35,620,000	21,600,751	△ 14,019,249	
(5) そ の 他		0	0	0	
2. 営 業 外 費 用		67,778,166	72,440,023	4,661,857	
	(1) 支 払 利 息	63,948,166	63,911,065	△ 37,101	
	(2) 繰 延 勘 定 償 却	0	0	0	
	(3) そ の 他	3,830,000	8,528,958	4,698,958	
	支 出 計 (D)	1,773,182,859	1,772,177,442	△ 1,005,417	
	経 常 損 益 (C)-(D) (E)	△ 10,931,679	34,872,898	45,804,577	
	特 別 利 益 (F)	0	0	0	
	特 別 損 失 (G)	0	0	0	
	特 別 損 益 (F)-(G) (H)	0	0	0	
	当 年 度 純 利 益 (又 は 純 損 失) (E)+(H)	△ 10,931,679	34,872,898	45,804,577	
	繰 越 利 益 剰 余 金 又 は 累 積 欠 損 金 (I)	51,059,065	96,863,642	45,804,577	

区 分		年 度	R6(2024)年度 計画値 A	R6(2024)年度 決算値 B	差額 (B-A)
資 本 的 収 入	1. 企 業 債		93,100,000	78,200,000	△ 14,900,000
		うち資本費平準化債	0	0	0
	2. 他 会 計 出 資 金		297,995,573	259,840,000	△ 38,155,573
	3. 他 会 計 補 助 金		31,266,000	31,266,000	0
	4. 他 会 計 負 担 金		0	0	0
	5. 他 会 計 借 入 金		0	0	0
	6. 国 (都 道 府 県) 補 助 金		49,000,000	36,207,000	△ 12,793,000
	7. 固 定 資 産 売 却 代 金		0	0	0
	8. 工 事 負 担 金		11,706,000	12,612,280	906,280
	9. そ の 他		0	0	0
	計 (A)		483,067,573	418,125,280	△ 64,942,293
	(A)のうち翌年度へ繰り越される支出の財源充当額	(B)	0	0	0
	純 計 (A)-(B) (C)		483,067,573	418,125,280	△ 64,942,293
資 本 的 支 出	1. 建 設 改 良 費		314,419,200	305,715,609	△ 8,703,591
		うち職員給与費	13,579,200	15,887,618	2,308,418
	2. 企 業 債 償 還 金		450,645,298	450,604,895	△ 40,403
	3. 他 会 計 長 期 借 入 返 還 金		0	0	0
	4. 他 会 計 へ の 支 出 金		0	0	0
	5. そ の 他		0	0	0
計 (D)		765,064,498	756,320,504	△ 8,743,994	
資本的収入額が資本的支出額に 不足する額 (D)-(C) (E)			281,996,925	338,195,224	56,198,299
補 て ん 財 源	1. 損 益 勘 定 留 保 資 金		281,996,925	338,195,224	56,198,299
	2. 利 益 剰 余 金 処 分 額		0	0	0
	3. 積 立 金 取 り く ず し 額		0	0	0
	4. 繰 越 工 事 資 金		0	0	0
	5. そ の 他		0	0	0
計 (F)		281,996,925	338,195,224	56,198,299	
補てん財源不足額 (E)-(F)			0	0	0
他 会 計 借 入 金 残 高 (G)			0	0	0
企 業 債 残 高 (H)			4,164,306,649	4,149,447,052	△ 14,859,597

○他会計繰入金

区 分		年 度	R6(2024)年度 計画値 A	R6(2024)年度 決算値 B	差額 (B-A)
収 益 的 収 支 分			394,511,007	447,563,595	53,052,588
	うち基準内繰入金		394,511,007	447,563,595	53,052,588
	うち基準外繰入金		0	0	0
資 本 的 収 支 分			329,261,573	291,106,000	△ 38,155,573
	うち基準内繰入金		31,266,000	31,266,000	0
	うち基準外繰入金		297,995,573	259,840,000	△ 38,155,573
合 計			723,772,580	738,669,595	14,897,015

(2) 収益的収支について（計画値と決算値との差額：主な項目）

【収益的収入】

（+44,799,160 円：営業収益△3,927,931 円、営業外収益+48,727,091 円）

- ・営業収益 下水道等使用料 △23,832,132 円
- ・営業収益 雨水処理負担金 +19,904,201 円
- ・営業外収益 他会計補助金 +33,148,387 円
- ・営業外収益 長期前受金戻入 +19,904,201 円

【収益的支出】

（△1,005,417 円：営業費用△5,667,274 円、営業外費用+4,661,857 円）

- ・営業費用 経費 △20,554,116 円
- ・営業費用 減価償却費 +24,396,388 円
- ・営業費用 資産減耗費 △14,019,249 円

■ 収益的収支の概要について

収入については、主な収入である下水道等使用料が減少しましたが、雨水処理負担金及び他会計補助金及び長期前受金戻入の増加により、計画値から 44,799,160 円の増加となりました。

支出については、想定よりも減価償却費が増加したものの、経費が計画値から減少したことにより、計画値から 1,005,417 円の減少となりました。計画値から減少した要因としては、想定よりも処理場等施設の修繕費や分解整備に係る費用が抑えられたことや挙げられます。

令和 6 年度の決算は 34,872,898 円の純利益となり、計画と比べて 45,804,577 円の増となりました。令和 7 年度から下水道使用料を改定しさらなる収益の増加を目指します。

(3) 資本的収支について（計画値と決算値との差額：主な項目）

【資本的収入】（△64,942,293 円）

- ・企業債 △14,900,000 円
- ・他会計出資金 △38,155,573 円
- ・国（都道府県）補助金 △12,793,000 円

【資本的支出】（△8,743,994 円） ※決算値と計画値との大幅な乖離無し。

■ 資本的収支の概要について

収入については、補助対象事業費の減に伴い、企業債及び国（都道府県）補助金が減少し、下水道事業全体の収支が計画よりも改善されたため、他会計出資金も減少したため計画値から 64,942,293 円の減少となりました。

支出については、計画値との大きな乖離は無く、計画値からは 8,743,994 円の減少となりました。

この結果、資本的収入額が資本的支出額に不足する額は、計画に比べて 56,198,299 円増加しています。今後も建設改良費が増加する見込みであるため、損益勘定留保資金だけでなく利益剰余金の処分についても実施していく見込みです。

2. 経営指標についてのモニタリング

	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
経常収支比率	104.11%	100.67%	100.47%	99.45%	101.95%
経費回収率	61.93%	62.64%	60.92%	60.14%	60.68%
有形固定資産減価償却率	6.78%	9.80%	12.70%	15.80%	17.91%
管渠老朽化率	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.19%

経営の健全化を示す経常収支比率は、有収水量の増加に伴う営業収益の増加及び支払利息の減少に伴う営業外費用の減少により前年度比 2.50%増の 101.95%となりました。

また、使用料水準の妥当性を示す経費回収率は、前年度比 0.54%増の 60.68%となりました。使用料で回収すべき経費を使用料収入で賄えていない状況であるため、下水道事業経営審議会の答申を受け、令和 7 年度からの使用料改定に向けて下水道条例を改正しました。今後も適正な使用料収入の確保に努めるとともに経費回収率の向上を目指します。

一方、償却対象資産の減価償却の状況を示す有形固定資産減価償却率は、前年度比 2.11%増の 17.91%となりましたが、令和元年度の法適化に伴い、同年度から減価償却費を算定していることから低い数値となっています。また、法定耐用年数を経過した管渠延長の割合を示す管渠老朽化率は 0.19%となっており、現状では老朽化した施設の割合は少ないものの、同時期に建設された施設が多く、今後多数の管渠の更新が必要となる見込みであるため、引き続きストックマネジメント基本計画に基づいて、計画的に施設の更新を行ってまいります。また、農業集落排水事業及びコミュニティ・プラント事業を公共下水道事業へ切り替えていくことで費用の大幅な削減を目指します。

3. 経営戦略の目標指標のモニタリング

	R5 (実績)	R6 (決算)	R11 (目標)	R17 (目標)
経費回収率	72.6%	70.7%	85%	100%
経常収支比率	113.0%	116.5%	116%	123%

公共下水道事業の令和 6 年度決算における経費回収率は、前年度と比較し、1.9%の減となりました。令和 7 年度に下水道使用料を改定しているため、今後は増加する見込みです。

また、経費回収率については前年度と比較し、3.5%の増となっており、令和 11 年度の目標値を超える結果となりました。経費回収率と合わせて引き続き令和 17 年度目標値である 123%を目指して収入の増加と経費の削減に努めてまいります。